

《ガギ》 特別号

2017年11月11日 *発行人;まつもと・よしお

『ガギ』(我戯)と来てグ(愚)にもつかないゲス(下衆)ゴロク(語録)。昨年 10 月創刊したMYコミ紙、これまでに 12 号まで発行。今号は特別号です。

★ 麻生誠先生追悼 ★

◆初対面;東大教社研の研究会で(1959 年)。博士課程の堀尾さん、麻生さんは眩しい存在でした。

◆お世話になりました;;@東学大非常勤講師に(1969・70)、@東学大専任講師採用(1972)、@阪大人間科学部集中講義(1980 年)、@共編著(麻生誠・小林文人・松本良夫編『学校の社会学』(1985 年、学文社)。麻生氏が 10 数年前に出版社と約束したもの。@科研費研究(『中学校教員の役割革新』、麻生門下の名越・河上・中村氏らとの共同研究で支援いただく 1985・6 年、)→@松本・河上編『逆風のなか教師たち』(1991 年、東洋館)。

◆ユニークな ASO 語;早口の日本語に英語、フランスが突如混入。後年これに「変な関西弁」(阪大生談)が混じってますますユニークに。わが女房など麻生先生から電話がかかると大パニック!電話局の人も聞き取れなかったようで、電報の差出人は「アソ、アトウ」などまちまちでした(採用手続き時、転居直後で電話が無く電報で連絡)。

◆麻生先生の行動観察録;@研究室棟の廊下を小走りにバタバタ、@会議中に読書、話しを聴いてないと思いきや突然発言!(聖徳太子並)。@昼食時近所の蕎麦屋に昼食とビールの出前注文(大胆ステキ!一脱常識)、@いつも女子親衛隊が包囲、@森進一や青江三奈も出てくる授業(伝聞)、@雑然たる机上から整然たる論文を生むマジック(驚異)、@紐を結べない不器用(同病者として親近感)、@事務手続き「怠り症」なのに響きかわない人徳)、@研究室にマリリン・モンローのヌードカレンダー(阪大で目撃、松本

の MM 狂いに影響か、もちろん責任は当方にあり。

◆記憶に残る麻生語録;@「粗末な研究室はブルーペン(闘牛場の牛の待機柵)みたい」、@「授業は落語家の高座のようなもの」(芸を磨けということか)、@「つねに 75 点以上の答案を書けるように」(学者の心得、これが難しい!)。

◆総括一ひとことという;とても無理!/@まか不思議な人・「宇宙人?」、@変人・奇人・善人・秀才・天才ミックス、@学生・後輩に対して面倒見のイイ人(ために苦汁も?)、@超やさしい人、@お坊ちやま、@女子学生コロシ(「ハンサム過ぎる先生)、@「スペインの没落貴族」(口髭を蓄えた際、誰かがそう言ったとか)、@もうこういう人は出てこないでしょう(残念至極)。@こういう人と「ご一緒できた幸せ」に大感謝。

◆きょうの一句;@『「あ美味し」*感謝あるのみ/学恩に』。注)* (あ・ア・う・ま・しー麻生・天野・潮木・牧野・清水各氏の頭一音の語呂合わせ)。先生・先輩・同期生に恵まれたわが学者(?)人生でした。

* * *

◆松本・近況報告(1995 年(60 歳時)以降);

@1996・8 年;東学大附属高校校長(併任)。

@1999 年;東京学芸大学定年退職(名誉教授)。

武蔵野女子大学現代社会学部(潮木学部長)教授就任。

@2002 年;『マリリン・モンロー大研究』出版。

@2006 年;武蔵野大学定年退職。

@70代前半、首都圏美術館巡り(約100館踏破)。

@70代後半以降;家事・介護・道楽にと多忙な日々を送っています。

=====

@ブログ(『さんぽあ〜と館』)開設中;

URL;<http://yorokan.blog78.fc2.com>

(* :ヨロカン;「よろずかんさつ」の短縮)

@メアド;matsumo_yoshi@yahoo.co.jp

(*まつも(アンダー・バー)よし、待つも良し)

=====

【後記】;記憶違い、思い違い、妄言などご容赦ください。